

みんなの ひろば

災害復興に役立ててほしい

宮城県北部連続地震の義援金活動 日赤日野町奉仕団

日赤日野町奉仕団は、8月14日から21日にかけて、町内で宮城県北部連続地震の災害義援金街頭募金活動をしました。



募金活をする日赤日野町奉仕団たち

7月26日に宮城県北部で震度6強を記録した宮城県北部連続地震。3年前に発生した鳥取県西部地震の際に多くの人から受けた恩を返したいと募金活動を始めました。

8月21日には、根雨地内のショッピングセンター前で街頭募金。買い物に訪れた人々は「がんばってください」と激励しながら次々と募金活動に協力していました。

飯島好江代表は「震災時には、多くの人に支えられました。その時の気持ちは今でも忘れられません。自分たちができることで支援していきたいです」と話していました。

集められた義援金は、日本赤十字社に送られ、宮城地震義援金として役立てられます。

ふるさとの

祭りを楽しむ

奥渡夏まつり

夏を彩る恒例の第20回奥渡夏まつりが、8月14日、奥渡公民館広場で開かれ、楽しい催し物に多くの人が暑さを吹き飛ばしました。

夕やみせまるころから祭りは始まり、子どもや大人も会場内に組まれたやぐらを囲み、日野町音頭や傘踊りなどを踊ったり、ジャンケン大会などの楽しい催しなどで盛り上がりました。

お盆で里帰りした人など約100人が訪れ、会場は夜遅くまで和やかなムードに包まれていました。



楽しい催しに盛り上がる会場

野外活動で

交流を深める

奥日野交流会

野外活動を通して、日野町と日南町の子もたちが交流を図る「奥日野交流会」が、8月23日・24日、カヌーの里（安原）で開かれました。

この日は、日野・日南両町の小学生13人が参加。カヌーやキャンプなどの野外活動や学習会を通して交流会を深めました。

日南町の子もたちのほとんどが、初めてのカヌー体験で、日野町の子もたちは、操作方法などを教えていました。この交流会は、毎年、両町交互に開かれています。



サッカーを通して交流を深める子どもたち

お互いの 技術を磨き合う

根雨SCがサッカー交流

サッカー交流を通して、お互いの技術向上や親睦を図ろうと、8月16日、根雨サッカークラブ（奥田研二監督）と西宮少年サッカークラブ（兵庫県西宮市）のサッカー交流会が、根雨小グラウンドで開かれました。

交流会は、合宿先を探していた西宮SCに町内在住者の方が紹介したのがきっかけで、子どもたちは、いっしょに練習したり、試合などをして技術の向上を図りました。

試合後には、いっしょに遊んだり、バーベキューや花火をして交流を深めました。



夕食のバーベキューを囲み交流を深める